

やあだ通信

誠実 情熱 行動



発行者 安田あつし後援会
住所 米子市尾高1694
TEL 0859-27-1835
FAX 0859-27-1901
携帯 090-8064-3775
<http://www.komei.or.jp/km/yonago-yasuda-atsushi>



新型コロナウイルス対策 —地域の医療体制を万全に—

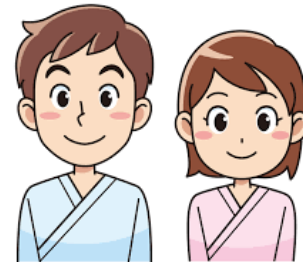
皆様には、日頃より公明党に力強いご支援をいただき、心より感謝と御礼を申し上げます。こちらは市民生活の課題に耳を傾け、その課題解決に取り組む公明党の安田あつしでございます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、公明党は、感染の次の波に備え、地域の医療体制の確保に向け、全力で取り組んでおります。



新型コロナウイルス感染症の第一波では、医療機関、病院の体制が逼迫し、いわゆる「医療崩壊」が起きるのではないかと懸念されました。結果として、現場の医療従事者の皆様を初めとする関係者の懸命の努力、国民の皆様のご協力のおかげで、「医療崩壊」は回避できました。

一方で、医療機関の経営状況は悪化しました。新型コロナ患者を積極的に受け入れた病院の8割以上が赤字となるなど、コロナ患者の治療を積極的に取り組んでいる病院ほど苦境に陥っています。これはコロナ患者のための病床を確保することで、入院患者を減らさざるを得なくなったことに加え、通常の診療体制の縮小や、院内感染を警戒して、受診を控える患者が増えたことが大きな要因でした。コロナ患者を受け入れていない一般の病院や診療所にも多大な影響が出ています。



このような状況を受け、公明党は、日本の医療を支える各種医療団体から集中的にヒアリングを実施し、9月2日に、財務大臣、厚生労働大臣に対し、「医療機関へのさらなる支援に向けた緊急提言」を行いました。

提言では、医療体制の維持・確保に向けて、コロナ感染者の診療を担う医療機関を対象に、診療報酬上の「コロナ対応加算」(仮称)の創設を提案。感染患者を受け入れる医療機関に支払われる病床確保料の引き上げを要請しました。(裏面に続く)

公明党全国大会

9/27



活動を紹介



南部町議会選挙に細田もとのり候補 7期目に挑戦 事務所前第一声 10/13



南部町議会選挙に細田もとのり候補



まるごう西伯店前



会見設備前

さらに、コロナ患者にも対応する救急・周産期・小児医療機関や、地域で医療提供を継続する機関における感染防止措置などへの財政支援の拡充を主張。資金繰り支援の強化も促しました。

インフルエンザ流行期への備えでは、ワクチン接種も視野に入れて、地域の身近な医療機関に発熱患者の検査・診療で協力してもらうことも想定されることから、発熱外来を担う医療機関に対する「必要十分な財政上の支援」を要望しました。



この公明党の提言を踏まえ、9月15日、政府は、約1.6兆円の予備費の支出を閣議決定しました。この中で、医療提供体制の確保には1兆1946億円を充てました。コロナ患者の病床や宿泊療養施設を10月以降も確保するための支援のほか、呼吸管理が必要な「中等症」の患者などに関する診療報酬のさらなる引き上げや、手厚い人員で対応する特定機能病院などの病床確保料の引き上げを行います。

さらに、インフルエンザ流行期に備え、発熱外来の体制を設ける医療機関への補助や、発熱した救急患者などコロナ感染疑いの患者を受け入れる救急・周産期・小児医療機関に対する支援も実施します。

検査体制の抜本的拡充に向けては131億円を充て、感染した場合に重症化するリスクが高い一定の高齢者らを対象にした検査事業を行う自治体への支援などを進めます。

公明党はこれからも、皆様が安心して医療を受けられるよう、地方議員、国会議員が連携し、新型コロナウイルス対策、地域の医療提供体制の確保に全力で取り組んで参ります。引き続き皆様の声、現場の声を公明党にお寄せください。よろしくお願い申し上げます。